

# 議会議員視察研修

## 青森県五所川原市と大間町を訪問

平成30年度の横芝光町議会議員行政視察は、総務経済常任委員会と民生文教常任委員会の二常任委員会合同で、10月18・19・20日と本州最北端青森県への議員視察を行いました。羽田空港から青森空港へと飛行機で向かい、そこからは3日間バスでの移動です。

初日は、五所川原市の立佞武多会館で高さ23m、重さ19tの巨大な立佞武多を拝見しました。テレビでしか見たことが無かったので、すが伝統を守る意気込み、また重要性は官民一体で行っています。

その後、五所川原市役所に移動、本年竣工したばかりの真新しい庁舎に驚かされた。こちらでは廃線の危機に合った津軽鉄道の存続について説明いただきました。地域の学生はじめ高齢者の足の確保は行政のみでは不可能で、地域全体の協力がなくては成り立たないということを感じさせられました。

2日目は、全国10か所にある石油備蓄基地のひとつである「むつ小川原石油備蓄基地」を視察しました。こちらは緊急時における石油供給確保を目的とした、国家石油備蓄の第1初号基地として1985年に完成したそうです。現在、全国の備蓄基地では約200日分の原油を備蓄しています。その後、本州最北端、ま

ぐろで有名な大間町を訪問しました。天気は快晴で函館行フェリーのりばからは対岸の北海道を見渡すことができました。こちらでは、役場職員の方もお見せいただきました。5,000人足らずの大間町をいかに盛り上げていくかをお見せいただきました。フェリー出発の際、大漁旗をみんなで「へばのー」(この地方の方言で「またね」)という感じの意味らしいです)と大きな声とともに左



▲青森県五所川原市役所での研修



▲津軽五所川原駅



▲むつ小川原国家石油備蓄基地



▲津軽海峡フェリーターミナル

右に大きく振り乗客を見送りました。思い出深い訪問となりました。3日目は、宿泊したむつ市のホテルを後に、紅葉で有名な八甲田山系、睡蓮沼、城ヶ倉大橋、地獄沼、酸ヶ湯など足早に見ながら八戸から新幹線で一路東京、地元へと帰りました。今回は過疎が心配される地方で、頑張っている人たちの工夫や努力を直接学び、国が推奨している地方創生のヒントになったことをご報告いたします。